

夢童

菅波 茂

10月26日。岡山市のオルガホールでAMDAチャリティコンサート・協定式が実施された。ピアノとバイオリンの協演は、おかやまコープとAMDAの協定式に先立つ一服の「清涼の風」だった。Association of Medical Doctors of AsiaのAriaがArtになった時間だった。米国同時多発テロ、イラク復興支援に引き続き三度目の心温まる演奏をしてくださった入江洋文・西牧尚子ご夫妻に心から感謝申し上げたい。

AMDAの緊急救援活動を支援するおかやまコープとの協定は、三橋幸夫理事長とAMDA代表である私の調印で始まった。この協定以前にもパキスタン南部サイクロン、中越沖地震をしてペルー沖地

震被災者救援活動にご支援をいただいている。「救える命があればどこへでも」のスローガンの下に、AMDA多国籍医師団が世界中へ派遣されている。その中核は人道援助の三原則である。「誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある」、「この気持ちの前には、国境、民族、宗教、文化等の壁はない」そして「援助を受ける側にもプライドがある」である。プライドとは自分も社会から必要とされたい、社会から認められたい気持ちである。人道援助三原則を裏付けるのは相互扶助である。相互扶助の累積により達成できる「尊敬と信頼のネットワーク」が、世界平和へ貢献できると信じている。

AMDA多国籍医師団は、メディアがあまり取り上げない災害にも積極的に派遣される。06年11月、フィリピン南部で台風により死者・行方不明者約1500人、被災者約10万人の被害が発生した。し

岡山発国際貢献—「命の伝説」

かし、同時期セブ島で開催予定だった「ASEAN+3首脳会議」にメディアが総動員されていたため、世界への発信は少なかった。AMDAイグナスが信条で、23年間かけておカンドネシア支部とフィリピン支部の協力で、1カ月にわたる救援活動を実施した。今年4月に発生したソロモン諸島沖地震・津波でも、死者が公式には52人（他に行方不明者多数。戸籍制度がないため、正確な死者数の把握は困難）と少なかったこともあり、報道は少なかった。しかし、同国のガラルカナル島などの島々で、第二次世界大戦中に日本兵を含め多くの島民に犠牲者を出しており、未だに戦後は終っていないとの認識の下に、AMDAインドネシア支部と本部から救援チームを派遣した。被災地で共に救援活動をしたチョイスル島ササムンガ病院の看護師長たちから感謝状を受け取った。「被災者の診療だけでなく、災害後の悲惨な状況を世界へ発信し続けてくれませんか」と。

三橋幸夫理事長は「組合員にウソをついてはいけない」が信条で、23年間かけておかやまコープを職員40人から現在の550人の社会的存在に育て上げている。おかやまコープ国際貢献検討委員会の三宅正勝さんは、私の提唱する「西のジュネーブ、東の岡山」構想の「おかやま国際貢献NGOサミット」に94年かと少なかつたこともあり、報ら13年間の長きにわたって尽力していただいた人生の先輩である。この尊敬すべきおカニの愛されるおかやまコープが、「命の源である食の安全」を創出する。私が代表するAMDAは、「救える命があればどこへでも」とコインの裏表である「AMDAは必ず来る」伝説を創出する。この両者の伝説が、岡山発国際貢献のシンボルへと昇華すること調印時に夢想した。

(AMDA代表)